

ROBOMASTER 2020 JAPAN OPEN

dji | R

— 世界大会(中国深圳 2020年夏)への登竜門！初の全日本予選開催 —
けいはんなロボット技術センター

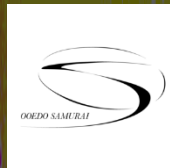
一般観戦Day
3/21(土)
9:30-18:00
(無料・予約不要)



出場
Team



蝦夷罷
(北海道)



OOEDO SAMURAI
(関東)



NAGOYA
SHACHIHOKO
(中部)



Scramble
(関西)



Setouchi
Salamander
(中四国)



FUKUOKA NIWAKA
(九州)

大会概要

RoboMasterとは、民生用ドローンの世界的企業DJI社主催のエンターテインメントロボットバトルコンテストです。中国深圳で行われる本大会は、世界各国から170以上のチーム、約1万人の若手エンジニアが参加(2019年度)し、ネット配信でも15か国、195万人以上が観戦しています。

大会目的

日本は依然として世界一のロボット生産大国ですが、需要が急速に伸びている中国等の海外メーカーの台頭、AI等の技術進展に伴う多様なプレイヤーの台頭等により、そのシェアは低下を辿っています。

RoboMasterでは、細かいレギュレーションを読み解きながら、高い性能を発揮するロボットを設計・製作する必要があり、技術課題に関する問題解決能力、理論的な知識を実践に生かす能力だけでなく、チームワーク、ゲーム戦略、さらには、資金調達力までが複合的に試されます。本競技へのチャレンジを通じ、正しい若手エンジニアの育成、世界で活躍できる次世代の優秀な人材の育成を目的としています。



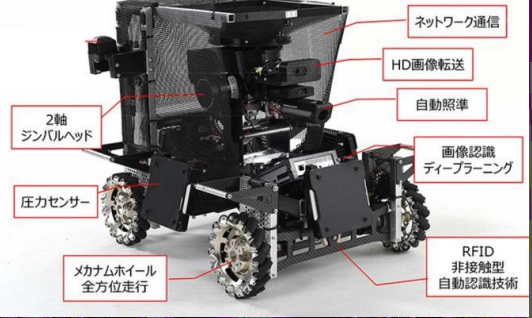
競技内容

ロボットどうして球を撃ち合いながら、相手基地に球を命懸けさせて、そのHP残量を競う競技です(Japan Openでは4機vs4機)。ロボットは、レギュレーションの範囲内で各チームが独自に設計・製作し、パイロットは、ロボットの“目”が見た映像を見ながら一人称視点で遠隔操縦します。

ロボット

設計製作にはハード、ソフト等様々な技術が必要です。

歩兵ロボット”の例



企業の皆様へ

「RoboMaster2020 JapanOpen 協賛企業様」を募集しています

ロボットづくりに情熱を注ぐ若者たちを応援する本競技会にご支援、ご協賛いただけませんか。若手人材支援を通じた企業イメージの向上、国内外のロボット技術系コミュニティにおける認知度向上が期待されるほか、本競技会は優秀な人材との出会いの場でもございます。ご関心のあらわれる企業様、ぜひ下記お問い合わせ先までご連絡いただけますと幸いです。

「WinterCamp」を先行開催!! (2019/11/30-12/1、けいはんなロボット技術センター)

WinterCampでは3機vs3機で実施。相手基地に球を当て、そのHP残量で勝敗が決まります。相手ロボットに球を当てれば競技中にパワーアップします(球の射出可能時間が伸びるなど)。



パイロットは、ロボットの“目”が見た映像をPC画面で見ながら一人称視点による遠隔操縦。2D画面で、実物の球(17mm、46mm)の軌道(放物線)をコントロールする操作には習熟が必要。命中の判別等も審判システムで全自動化(競技前に検査場にて審判システムとロボットのICチップを接続し、射出パワー等などの様々なチェックを実施)。



お問い合わせ RoboMaster日本委員会事務局 (株)ニワカソフト(福岡市) TEL 092-406-5353
京都府商工労働観光部ものづくり振興課 TEL 075-414-5100